

2017年10月19日

## 「上原美術館」リニューアルオープンのご案内 仏教美術と近代絵画の新たな出会い

公益財団法人 上原美術館(静岡県下田市 理事長:上原昭二)は、11月1日(水)にリニューアルオープンの記念式典を執り行い、11月3日(金・文化の日)より一般公開をさせていただきます。

これまで上原美術館は、仏教美術を収蔵する上原仏教美術館と、近代絵画を収蔵する上原近代美術館として活動を続けて参りましたが、このリニューアルを機に、ひとつの美術館として新たなスタートを切ることになりました。

上原美術館の二つのギャラリーは、旧上原仏教美術館が「仏教館」に、旧上原近代美術館は「近代館」に改称いたします。

今回のリニューアルでは、仏教館が新しくなりました。

展示室は、国宝や重要文化財を保存・展示できる厳しい基準をクリアするとともに、優しい光ながら細部までご覧いただける照明環境が特色となっています。

収蔵品も増え、興福寺千体観音(平安時代)、大日如来坐像(鎌倉時代)などの仏像や、中阿含経(奈良時代)といった古写経が新たに加わりました。

近代館は、印象派に代表されるフランス近代絵画や日本近代洋画、日本画、彫刻など、現在、理事長を務める上原昭二氏が愛蔵したコレクション 300点を中心に、季節ごとの展覧会を開催してまいります。

上原美術館は、「仏教美術」と「近代絵画」を同時にご覧いただける美術館となります。

交わることがなかった異なるジャンルの美にも、時代や地域、宗教を超えた普遍的な価値観が共有されていると感じ取っていただければと願っております。

伊豆から世界へ、そして世界から伊豆へ。

山間にひっそりとたたずむこの美術館で、くつろぎのひとときをお過ごしいただくとともに、多くの人に美の豊かさを存分にお楽しみいただける美術館を目指してまいります。

お問い合わせ

公益財団法人 上原美術館

担当:堀勝、柳田雅彦

〒413-0715 静岡県下田市宇土金 341

Tel. 0558-28-1228 / Fax. 0558-28-1227

## 上原美術館 概要

名 称:公益財団法人 上原美術館

住 所:〒413-0715 静岡県下田市宇土金字馬場 341 番地

Tel. 0558-28-1228 / Fax. 0558-28-1227

理 事 長:上原昭二

館 長:太平吉子

沿 革: 1983(昭和 58)年 5 月 上原仏教美術館(財団法人上原仏教美術振興財団)が開館

2000(平成 12)年 3 月 上原近代美術館(財団法人上原近代美術館)が開館

2011(平成 23)年 4 月 両財団とも公益財団法人へ移行認定

2013(平成 25)年 4 月 公益財団法人上原近代美術館が公益財団法人上原仏教美術振興財団を吸収合併し、公益財団法人上原美術館へ改称

2017(平成 29)年 11 月 上原美術館(仏教館・近代館)としてリニューアルオープン

入 館 料:大人 1,000 円 学生 500 円 高校生以下無料

開 館 時 間:9 時～17 時(入館は 16 時 30 分まで)

休 館 日:展覧会会期中は無休

ホームページ:<http://www.uehara-museum.or.jp>

基 本 財 産:土地 6,402 m<sup>2</sup>

建物 2,449 m<sup>2</sup>(延床面積) 仏教館 1,321 m<sup>2</sup> / 近代館 1,128 m<sup>2</sup>

収 蔵 品:美術品 448 点

### 代表的な収蔵品

仏教美術:十一面観世音菩薩立像(平安時代、重要美術品)、阿弥陀如来立像(鎌倉時代)、

大日如来坐像(鎌倉時代、新収蔵)、紫紙金字華嚴経断簡(奈良時代)、中尊寺経(平安時代)

近代絵画:クロード・モネ《雪中の家とコルサース山》、オーギュスト・ルノワール《横になった婦人》、

フィンセント・ファン・ゴッホ《鎌で刈る人(ミレーによる)》、梅原龍三郎《北京長安街》、

須田国太郎《烈日下の鳳凰堂(平等院)》、小林古径《杪秋》

■ 日照山 向陽寺

静岡県下田市宇土金にある日照山 向陽寺は四百有余年前に開かれた曹洞宗の古刹です。

1978(昭和 53)年、当時参議院議員で大正製薬株式会社社長を務める上原正吉・小枝夫妻によって再興されました。

1981(昭和 56)年には境内に達磨大師堂を建立し、曹洞宗管長 永平寺七十六世 秦慧玉(はたえぎよく)禅師のもと落慶開眼式をおこないました。

■ 上原仏教美術館 (1983 年～)

大正製薬株式会社名誉会長を務めた故・上原正吉、小枝夫妻の寄付により、豊かな仏教美術の世界に触れる機会を作りたいとの願いのもと、1983(昭和 58)年 5 月に開館しました。美術館が建つ下田市宇土金は小枝夫人の生まれ故郷です。

開館当初は明治以降の仏師による木彫の仏像百数十体を収蔵展示しておりました。その後も収集を続け、平安・鎌倉時代の仏像から奈良時代の古写経まで、幅広い仏教美術を収蔵しております。

また、伊豆半島の継続的な調査を行い、それにもとづいた伊豆の仏教美術に関する企画展を毎年開催しております。

■ 上原近代美術館 (2000 年～)

大正製薬株式会社名誉会長の上原昭二氏が長年にわたって収集、愛蔵したコレクションの寄付により、上原仏教美術館に隣接して 2000(平成 12)年 3 月に開館しました。

モネやルノワールなどの印象派、マティス、ピカソなどの西洋近代絵画、梅原龍三郎、須田国太郎、横山大観、小林古径などの日本近代絵画など、幅広いコレクションを収蔵しております。それらの作品は、個人の家飾るために収集されたものばかりであり、多くの作品が「やすらぎ」の美意識で統一されています。上原昭二氏は、この地に美術館を建てたことを「両親の菩提寺も近くにありすし、ささやかな親孝行です」と述べています。

画像



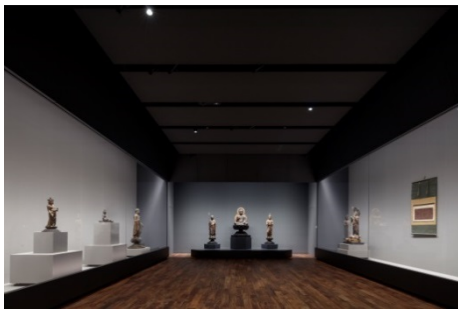
1. 上原美術館外観



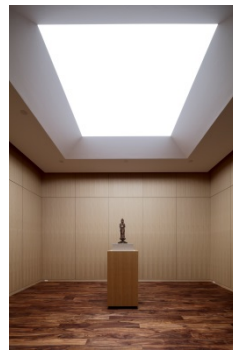
2. 仏教館外観



3. 近代館外観



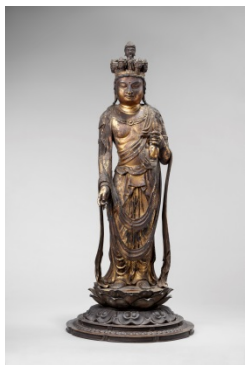
4. 仏教館展示室



5. 仏教館ホワイトエ



6. 近代館展示室



7. 十一面観世音菩薩立像(平安時代)



8. 紫紙金字華嚴経断简(奈良時代)



9. 大日如来坐像(鎌倉時代、新収蔵)



10. クロード・モネ《雪中の家とコルサース山》1895年



11. オーギュスト・ルノワール《横になった婦人》1912年



12. 須田国太郎《烈日下の鳳凰堂(平等院)》1936年